



発行所

自衛隊熊本地方協力本部

〒860-0047
熊本市西区春日2丁目10番1号
熊本地方合同庁舎B棟3階
TEL 096-297-2053

熊本地本 検索

<https://www.mod.go.jp/pco/kumamoto/>

迎春

令和二年 元旦

新年のご挨拶



野々口 弘基
後援会 会長

自衛隊熊本地方協力本部

明けましておめでとうございます。
後援会会員の皆様をはじめ、自衛隊熊本地方協力本部及び防衛協力諸団体の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。
また、旧年中は熊本地本後援会に対する格段のご支援、ご協力

新年のご挨拶



仲西 勝典
本部長 一等陸佐

自衛隊熊本地方協力本部

明けましておめでとうござい
ます。
令和二年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、自衛隊熊本地方協力本部に対しまして、皆様から格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年は、皇位継承行事を始め、ラグビーワールドカップでの日本代表初のベスト8入りなど明



熊本地本 HP



熊本地本 Twitter

を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、史上初となる米朝首脳会談以降も北朝鮮の核・ミサイル能力に本質的な変化は生じておらず、引き続き北朝鮮の軍事動向は、我が国の安全に対する重大かつ差し迫った脅威のままでございます。また、中国においては、「世界一流の軍隊」とすることを目標に、透明性を欠いたまま継続的に高い水準で国防費を増加させ、核・ミサイル戦略や海上・航空戦力を中心とした軍事力を広範かつ急速に強化しており、南シナ海において軍事拠点化を進めるとともに、力を背景とした一方的な現状変更を継続し、その既成事実化を進めています。また、国内に目を向けますと、令和元年の前線に伴う大雨や台風等、各地で自然災害が発生し、要請に基づき自衛隊の皆様が現地

るい話題がありました。一方で、台風十九号による関東・東北広域にわたる被害の発生等、自然災害による厳しい現実を突き付けられた年でもありました。また、中国における軍事力強化や海洋進出の拡大、北朝鮮による弾道ミサイル開発の多様化やロシアによる軍改革の推進等、わが国を取り巻く安全保障環境は冷戦後最も厳しい状況にあると認識しております。
かかる環境認識の下、防衛省・自衛隊におきましては、新たな防衛計画の大綱及び中期防衛力整備計画に基づき、「多次元統合防衛力」を実現するため、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域を含め、領域横断作戦に必要な能力の強化や人的基盤など防衛力の中心的な構成要素の強化により、真に実効的な防衛力の整備を着実に実施しているところであります。国外でも、「自由で開かれたインド太平洋」というビジョンの下、国際平和協力活動や能力構築支援等への積極的かつ戦略的な取組が進められるとともに、西方管内におきましても、昨年度末に奄美大島及び宮古島に駐屯地が新設され、南西地域の防衛態勢が逐次強化されております。
このような中、自衛隊が厳しい任務を完遂し、国家・国民の負託

に赴き、不眠不休で人命救助や災害復旧に尽力されている事はご承知のとおりでございます。
このような状況の中、防衛省・自衛隊はその防衛力を最大限効果的に機能させるために人的基盤を充実・強化させることが極めて重要と考えているところでございます。その一翼となる自衛官等の募集業務を自衛隊熊本地方協力本部が担っているわけですが、採用の上限年齢が引き上げられたとはいえ、募集環境は未だに少子化・過疎化に伴う対象者の減少や景気回復の影響により厳しい状況が続いていると聞いております。今後とも皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
最後になりましたが、自衛隊熊本地方協力本部の益々のご発展と皆様のご健勝とご多幸を祈念

に忘れていくためには、自衛隊の人的基盤を充実・強化し、部隊・隊員が任務に邁進できる環境を構築することが地方協力本部に与えられた重要な使命であると認識しております。
自衛隊熊本地方協力本部の昨年一年間の業務を振り返ってみますと、募集業務におきましては、雇用情勢及び少子・高学歴化に伴う募集対象人口の減少等により、募集環境がより一層厳しさを増している状況の中、自治体、募集相談員、家族会、隊友会、各協力諸団体等のご協力を賜りながら、募集目標達成に向け、本部及び各出張所等が総力を挙げて日夜奮闘努力しております。就職・援護業務におきましては、現在の経済・雇用情勢は緩やかな回復傾向にあり、県内の有効求人倍率も増加傾向にあるものの、隊員が後顧の憂いなく職務に邁進できる安定した環境を構築していくため、援護協力企業等との連携を強化して、更なる就職・援護基盤の拡充を図っているところであります。予備自衛官業務におきましては、招集訓練等に際して雇用企業の皆様が格別のご配慮を頂きながら、予備自衛官等の充実・強化に向け取り組んでいるところであります。渉外広報業務におきましては、昨年七月に後援会をはじめ多くの方々との協賛のもと、熊本市街地中心部の

花畑広場で新たなイベントとして「じえいたいフェスタ in 熊本」を開催した他、学生初の大報大使の委嘱等、あらゆる機会を捉えて、自衛隊に対する国民の理解と防衛・防災意識の啓発に尽力して参りました。引き続き、熊本地方協力本部としましては、関係諸団体、各自治体、学校等との連携を強化し、様々な活動や情報発信を実施しつつ、組織的募集や広報活動に尽力して参る所存であります。
本年は、一九六四年以来五十六年ぶり、日本で二回目となる東京オリンピック・パラリンピックが開催される記念すべき年です。この美しき日本の平和と独立を守り、国の安全を保つため、熊本地方協力本部一丸となって、与えられた「責務の完遂」に務め、熊本県民の期待と信頼に応えるべく、全身全霊で職務に邁進する所存でありますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
最後になりましたが、熊本地方協力本部と皆様の絆が今後益々強くなりましますよう、そして、本年が多き年になりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

自衛隊熊本地方協力本部 後援会役員紹介

副会長	阪本 孝博
顧問	副島 健史
同	梨子木 和秀
同	小川 裕士
理事	荻 和弘
同	原 亨
同	南 博
同	井上 朋和
同	山下 高憲
同	川口 英徳
同	芹川 正信
同	原口 忠幸
同	森山 澄江
同	實田 逸夫
同	吉本 孝寿

熊本地本だより

新春のお慶びを申し上げます

熊本県隊友会

会長

山下 高憲



新年明けましておめでとうございます。います。熊本地方協力本部の皆様、家族会の皆様はじめ、関係業務に従事されております皆様におかれましては、ご家族共々希望に満ちた輝かしい令和二年の新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。熊本地方協力本部の皆様には県隊友会本部はじめ、各地域で活動しております隊友会各支部が何かとご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。熊本地方協力本部におかれましては、景気回復・適齢人口減の厳

熊本県防衛協会
青年部会

会長

副島 健史



新年明けましておめでとうございます。います。自衛隊熊本地方協力本部の皆様におかれましては、令和最初の新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。また、日頃よりご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は今上天皇がご即位され、新たな元号令和となりました。元号は万葉集「新春の令月にして気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き蘭は珮後の香を薫らす」から出典され日本らしい響きに心

しい募集環境の中、仲西本部長の御統率のもと総力を挙げて募集に成果を上げておられますことに心より敬意を表します。

さて、昨年二月に自衛隊・家族会・隊友会の三者において、大規模災害時等における派遣隊員の留守家族支援に関する協定の締結を実施しました。現在、自衛隊側において具体化を図ってもらっているところであり、留守家族支援態勢を着実に進めていきたいと思っております。また、厳しい募集環境の中、熊本地方協力本部の各事務所との連携を図るため、地域担当との連携を深め、協力態勢を確実にしていきたいと思っておりますので、隊友会を大いに活用してください。

厳しい募集環境ではあります。自衛隊熊本地方協力本部の更なるご発展・ご活躍を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

地よさを感じています。私見ですが、戦後、アメリカナイズされた日本は、日本の良さを海外の方から見直されることによって気付かされてるようになっていきます。だからこそ、より日本らしくありたいと強く思うようになりました。「自分達の国は自分達の手で守る」。この当たり前の考えを高揚させるべく、また、日本国憲法への自衛隊の明記を含め、我々、熊本県防衛協会青年部は自衛隊に対する国民の協力、防衛意識の向上、そして自衛隊熊本地方協力本部との連携を強化し活動を行って参ります。

ここ数年、全国各地の企業も人員確保に苦労していますが、各地地方協力本部も同様に募集業務にご苦労をされておられます。昨年は、大学生の広報大使も任命され、若者への自衛隊アピールに積極的に取り組まれておられます。多方面からの募集業務に少しでもお役に立てるよう我々青年部も取り組

熊本県隊友会
役員紹介

副会長

森崎 淳一

同

村上 隆英

同

森川 洋治

同

松原 和雄

同

竹本 康美

常任理事

源 秀光

同

坂本 恒雄

同

松浦 信久

同

吉川 輝之

同

永松 啓子

同

荅 和弘

同

中村 一志

同

田原 健一

同

甲斐 憲明

常任理事兼事務局長

實田 逸夫



熊本県
自衛隊家族会

会長

井上 朋和



新年明けましておめでとうございます。います。熊本地方協力本部隊員並びに熊本県自衛隊家族会関係者各位の皆様におかれましては、ご家族共々希望に満ちた輝かしい新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。私達自衛隊家族会では地方協力本

自衛隊熊本地方
協力本部OB会

会長

阪本 孝博



新年明けましておめでとうございます。います。熊本地方協力本部隊員の皆様をはじめ、協力諸団体及びOB会員の皆様に対し、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

熊本地方協力本部では、隊員の皆様が本部長の指導の下、「第一回じえいたいフェスタin熊本」や女子大学生を広報大使に任命するなどの奇抜な施策を提案されて、後援会が主催し各協力団体の支援、高等学校や各部隊の多大な協力を受けたイベントの実施は、人々の脳裏に残る素晴らしいものとなりました。尚、少子化の厳しい募集環境下においても、常に業務の総

熊本県防衛協会青年部
役員紹介

副会長

吉本 孝寿

同

橋本 龍生

事務局長

津留 貴裕



部、各地域事務所の広報官のご協力のもと、県下各支部での研修会、新入隊員の壮行会、講演会、各地域での祭り、各イベントなど多岐にわたってご指導、ご協力を頂いている事に対しても感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと日本各地で「大雨」や「台風」の被害が発生しました。佐賀県を中心に九州北部に猛烈な雨、また、令和元年台風第十九号、十月十一日から十二日にかけて東日本一帯を襲った記録的な大雨等、大きな災害が畳み掛けるように発生しました。今後、南海トラフ地震が予測される中においても自衛隊員は人命救助、生活支援活動等での献身的な災害復旧活動により、被災者

佐が新たに本部長としてご着任されました。令和二年も仲西本部長を核心として隊員の皆様が心機一転、今年もより一層業務に邁進されることにより、多大な成果を収められますことを期待しております。

一説には災害は忘れた頃にやってくると思いますが、地球温暖化が要因なのか近年は、これまでにはなかった記録的な未曾有の自然災害が、毎年のように日本列島各地を襲います。昨年も台風十五号と十九号が東日本や東北地方に到来して猛威を振るい、多くの人命が失われ、住宅や田畑などの被害は惨憺たる有様にて、想定外の大

の皆様が本部長の指導の下、「第一回じえいたいフェスタin熊本」や女子大学生を広報大使に任命するなどの奇抜な施策を提案されて、後援会が主催し各協力団体の支援、高等学校や各部隊の多大な協力を受けたイベントの実施は、人々の脳裏に残る素晴らしいものとなりました。尚、少子化の厳しい募集環境下においても、常に業務の総合理化を図るなど、募集・援護・予備自・広報業務に日々真摯に取り組んでこられました。また、八月には仲西勝典一等陸

に元氣と前に進む勇気を与え、多くの国民の皆様より賞賛を得ております。

今後様々な任務を完遂するため、日々精進され国民の皆様により添う自衛隊であって欲しいと思っております。

自衛隊家族会も各部隊との絆を深め「隊員に最も身近な存在であることに誇りを持ち、力を合わせて自衛隊を支えます」との信条のもとに活動して参りますので、今後とも家族会活動に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、仲西本部長をはじめとする自衛隊熊本地方協力本部の皆様方のご健勝とご発展を祈念申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

げ、一日も早い復旧・復興を心から願うばかりです。

さて、近頃我が国を取り巻く安全保障環境は容易ならざる状態にあります。強大化した権威主義の中国、核・ミサイルを保有する北朝鮮、軍事大国への道を歩むロシア、南北統一を優先して反日・反米感情を抱く韓国の存在があり、不透明さの増す世界の中で我が国は如何にあるべきか。我が国固有の領土である北方領土や竹島の領土問題が未解決のまま存在し、尖閣諸島に関する独自の主張に基づくとみられる活動により、中国公船が連日のように接続水域への侵入を繰り返しております。ロシアがクリミアを無血併合したこと

に鑑み、私達は今こそ自国の領土に対する危機感を持つべきでしょう。ましてや、我が国の安全保障体制において、戦後七十数年間一度も改正されない憲法をこのまま固守するのか、不磨の大典とせず適切に機能させるために、早期に見直すべきでは。また、一部の国を除き世界の大部分で評価されている我が国こそが、今や各国が宇宙、サイバー、電磁波の領域でのぎを削りイノベーションを遂げつつある軍事技術の面においても、優位性を保つために変革を推進し

めるなどの知力を働かせて、アジアにおいてリーダーシップを発揮すべき時ではないでしょうか。熊本地方協力本部の現職隊員の皆様方が、退官後はOB会へ是非とも入会されますことを心から期待致します。OBの皆様にあつては、ご自身が熊本地方協力本部のために何が出来たかを自問自答し、今後とも熊本県の充実発展を共に支えていくことではありませんか。熊本地方協力本部隊員をはじめ協力諸団体及びOB会員の皆様方、今後益々のご健勝とご多幸を祈念し、私の新年のご挨拶と致します。

上げます。

熊本県自衛隊家族会
役員紹介

副会長

野口 末治

同

村山 政廣

同

濱端 正之

同

森山喜美子

事務局長

光永 邦保



るなどの知力を働かせて、アジアにおいてリーダーシップを発揮すべき時ではないでしょうか。

熊本地方協力本部の現職隊員の皆様方が、退官後はOB会へ是非とも入会されますことを心から期待致します。OBの皆様にあつては、ご自身が熊本地方協力本部のために何が出来たかを自問自答し、今後とも熊本県の充実発展を共に支えていくことではありませんか。熊本地方協力本部隊員をはじめ協力諸団体及びOB会員の皆様方、今後益々のご健勝とご多幸を祈念し、私の新年のご挨拶と致します。

自衛隊熊本地方協力本部
OB会役員紹介

副会長

赤星 朝久

同

源 秀光

同

清水 裕美

事務局長

両角順一郎





募集課



総務課



副本部長



熊本分駐所・熊本募集案内所



渉外広報室



援護課



山鹿地域事務所



玉名地域事務所



宇城募集案内所



水俣地域事務所



八代出張所



菊池分駐所



阿蘇地域事務所



天草駐在員事務所



人吉地域事務所

年男年女による新年抱負

玉名所 一等陸曹 横原 雄志

皆様、新年明けましておめでとうございます。
自衛隊生活も残り三任期余り。
今年は、仕事に
育児に全力で邁進します。



総務課 一等陸曹 下村 祐一郎

今年で私も三十六歳になり、三回目の年男になります。
これからも、自衛官として、人と
して、大きく成長していきたいです。



総務課 陸曹長 堀内 守博

明けましておめでとうございます。
五回目、六回目を迎えられるよう、日々精進していきます。



援護課 期業員 鬼塚 道子

迎春『和敬静寂』いつでも穏やかな気持ちでいたいと思います。
今年もよろしくお願い致します。



水俣所長 3等海佐 一瀬 昭大

明けましておめでとうございます。
今年も年男となりますが、今年中には事務所移転もあり、節目の一年となります。
心機一転、報恩謝徳の心を忘れず、所員一丸となり任務完遂できるよう奮励努力してまいります。



援護課 防衛事務官 白石 康江

迎春『日々是好日』そう思えるよう精進します。
今年もよろしくお願い致します。



援護課長 防衛事務官 齋藤 譲次

明けましておめでとうございます。
五回目の年男を迎えるとともに、自衛隊生活も令和二年度が最後の年となりました。
全てに感謝し、良い一年にしたいと思
いますので、今年もよろしくお願い申
上げます。



募集課 防衛事務官 野田 功

新年明けましておめでとうございます。
本年の抱負として、昨年の検診結果を見て(笑)とし、
全ての根源である健康体の「健」とし、
充実した一年にしたいと思
います。
本年も引き続き宜しくお願いします。



創立十三周年記念行事

十一月二十九日（金）、国会議員代理、各市町村長、防衛議員連盟他、防衛協力諸団体等の皆様、約二五〇名の参加を得て、創立十三周年（地連創立六十三周年）記念行事を熊本市内のホテルにおいて開催した。

記念行事においては、本部長感謝状贈呈式、西部方面音楽隊のサックス四重奏による演奏会、熊本地本による団結歌「絆と共に」の披露及び後援会主催による記念祝賀会を実施した。感謝状贈呈式では、熊本地本の業務に



▲ 感謝状贈呈式



▲ 西部方面音楽隊による演奏



▲ 野々口後援会長による主催者挨拶



▲ 仲西本部長の謝辞

多大な貢献をされた自治体、企業等十九団体及び個人十五名に対し、感謝状を贈呈した。

熊本地方協力本部後援会主催による記念祝賀会では、まず野々口後援会会長による主催者挨拶に始まり、仲西本部長の謝辞、藤川熊本県議会防衛議員連盟会長のご祝辞、そして来賓及び感謝状受賞者の紹介に続き、熊本地本団結歌を披露し、副島副会長の乾杯のご発声により、

祝賀会が開始された。

藤川熊本県議会防衛議員連盟会長からは、「前会長と同様に熊本地本を応援するとともに、防衛省及び自衛隊の定年延長等の各種施策について、今後とも前向きに議論していきたい」と心強いご祝辞を頂いた。乾杯後の祝宴は終始和やかな雰囲気の中、各テーブルで本部長を囲み記念撮影をする等、後援会員、防衛協力諸団体等と地本部員の総勢約三〇〇名で活発に意見交換をして親睦を図った。

最後に、阪本後援会副会長によるユニークかつ力強い万歳三唱で記念行事は盛会のうちに終了した。

自衛隊熊本地方協力本部は、今後も防衛協力諸団体等との絆を強固たるものに発展させ、各種事業に積極的に取り組んでいく。



▲ 阪本後援会副会長による万歳三唱



▲ 藤川熊本県議会防衛議員連盟会長

感謝状受賞者紹介

一 一般功労

玉名市 殿
宇城市 殿
東 浩一 様
井上 悟 様
大城戸幹雄 様
規矩真由美 様
小濱 慶一 様
高田貴美子 様
中村いつみ 様
原口 忠幸 様
原屋 教利 様
東田 誠喜 様
樋口 紀子 様
宮川 政士 様
吉海 安丈 様

湧心館高等学校 殿
ルーテル学院高等学校 殿
岩本 芳典 様
谷口 辰哉 様

三 就職援護功労

株式会社アクティオ 九州支店 殿
学校法人 君が淵学園 殿
株式会社 くまさんメディクス 殿
トールエクスプレス ジャパン株式会社 九州支社熊本支店 殿
日本通運株式会社 熊本支店 殿
日本郵便株式会社 熊本北郵便局 殿

二 自衛官募集功労

和水町 殿
南小国町 殿
甲佐町 殿
慶誠高等学校 殿
必由館高等学校 殿
人吉高等学校 殿
松橋高等学校 殿

四 予備自衛官等雇用功労

医療法人かぜ 植木 いまふじクリニック 殿
サンワアルティス 株式会社 殿

熊本地方協力本部 団結歌

絆と共に

作詞 部員一同
作曲 黒岩久男

一 行くぞ熊本地本 今日声高らかに
部員一丸となり走り出せ
日本の平和を任せる肥後っ子
草の根分けても探し出す
行くぞ熊本地本 誇りと自信を胸に
志願者求め絆と共に

二 我ら熊本地本 未来は明るい
心配は必要ない援助は任せろ
未来の約束優れた求人
鼓舞奮闘探し出す予備自も頼む
みんなで笑顔を交わし 夢を語り合う
目指す適職援護絆と共に

三 響け熊本地本 夢と希望を与え
今日も一致団結士気高く
溢れる元気と笑顔を絶やさず
地域のかげ橋繋ぐ縁
進め熊本地本 輝く未来の為に
我ら今日も行く絆と共に

四 翔べよ熊本地本 われらその屋台骨
耐えろ雑草の如くしなやかに
組織の動力部員の健康車両の安全金銭管理
誇りをかけて永久に事故なく守りぬけ
行こう熊本地本 たえ目立たなくとも
飛ばせ心に檄を絆と共に

広報大使からの年賀状

本年も熊本地本の皆様と一緒に、
自衛隊をPRして参りますので
よろしくお願いいたします。

熊本地本広報大使
宮崎 頌子



退職自衛官を採用して 雇用企業様の声



医療法人社団悠愛会
悠愛病院
院長
田代 尊久 様

明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願い致します。

一 企業の概要及び事業内容等

悠愛病院は「医療療養病床」と「介護療養病床」合わせて一五〇床からなる療養型医療施設です。「医療療養病床」は急性期の治療後にある程度症状が回復しても継続して治療が必要な患者さまに、「介護療養病床」は重い後遺症などで自宅での介護が困難となった患者さまにご入院していただいています。安全で思いやりのある医療と介護のご提供ができるよう努力しています。

二 退職自衛官の採用理由

病院は様々な「医療の専門職」から形成されています。しかし、それぞれの専門職意識が強すぎる点と、個々の技能に委ねる点が多いために、病院全体として連携や意思疎通がうまく機能しない場合があります。特に当院のような一〇〇（一五〇床）の中規模病院では、大病院ほどの強固な組織体制も無く、かといってクリニックほどアットホームな環境下で意思疎通があるわけでもありません。私は救急医療と災害医療を専門としていましたので、医療活動が一つの組織として機能するためには、医療責任者（メディカルコマンダー）の指揮命令下において組織的に実行するコマ（Command）と、他職種間の横の連携（Control）が大切と考えています。実際にそのような現場で長く勤務されていた、退職自衛官の方に入職いただくことで、そのノウハウを病院内にフィードバックしていただきたいと考えました。

三 退職自衛官の職務内容及び勤務の様子

当院に入職いただいた百合本さんには、総務部長としてご勤務していただいています。実際には医療機関における通常の総務部の仕事以外にも、災害時の実務や対応、避難や患者搬送の訓練といった、医療従事者が不慣れな部分の指導を行っていただいています。また、前述のCommand & Controlの構築についても、私のよきアドバイザーとして、欠かすことのできない方です。

予備自衛官表彰者紹介

（第五次）

■陸上幕僚長表彰（勤続二十年）

二等陸曹 野田 誉雄 氏（菊池市）

■西部方面総監顕彰（定年）

三等陸佐 山後 誠司 氏（熊本市）

三等陸佐 前田 隆敏 氏（熊本市）

一等陸尉 堀川 淳 氏（阿蘇市）

二等陸尉 篠原 秀樹 氏（熊本市）

三等陸尉 松本 恵吾 氏（熊本市）

陸曹長 亀本長四郎 氏（下益城郡）

陸曹長 立尾 幸一 氏（天草市）

陸曹長 豊永 保弘 氏（球磨郡）

■熊本地方協力本部長表彰（勤続五年）

二等陸佐 川田 伸也 氏（熊本市）

二等陸佐 藤井 務 氏（熊本市）

二等陸佐 上田俊比佐 氏（熊本市）

三等陸佐 下田 丞治 氏（熊本市）

三等陸尉 金子 和也 氏（合志市）

三等陸尉 本村 俊一 氏（球磨郡）

三等陸尉 山本 祐司 氏（上益城郡）

准陸尉 坂井 誠一 氏（玉名市）

准陸尉 園村 宏 氏（熊本市）

准陸尉 泊 重久 氏（合志市）

准陸尉 那須 一則 氏（熊本市）

准陸尉 前田 学 氏（合志市）

准陸尉 松本 正弘 氏（熊本市）

人 事 往 来



転入者（十月二十八日付）
募集課 二等海曹 美吉 矯丞（沖縄海洋観測所）

募集課学校等係として募集に貢献できるよう、以前よりもパワー全開で頑張る所存です。
ご指導宜しくお願いします。

祝!こんにちは あかちゃん



総務課 防衛事務官 田中 雄次
三男 陽晴くん 令和元年8月11日誕生

健康で明るく、優しい人になってください!!
子供達に負けない様、頑張りますので、今後とも
宜しくお願い致します。

田中事務官

祝 定年退官



11月12日付退官
准陸尉 甲斐 幸宏
入隊年月日 昭和59年3月26日
自衛隊歴 35年7ヶ月

皆様のおかげをもちまして、無事に定年退官することができ、人生の一つの目標をやり遂げる事が出来ました。
これも、本部長をはじめ地本部員の皆様のご支援の賜物と、深く感謝致しております。
皆様の、今後のご健闘を心からお祈り申し上げます。



11月10日付退官
1等陸曹 上田 光吉
入隊年月日 昭和59年4月2日
自衛隊歴 35年7ヶ月

皆様のおかげをもちまして、無事に定年退官を迎えることができました。
これまで多くの方に出会い、支えられました事に感謝いたします。
皆様の、今後益々の発展とご健勝を祈念申し上げます。

永年に亘る自衛隊勤務大変お疲れ様でした。健康に留意され
益々のご活躍を祈念致します。